



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 大栄環境株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9336 URL <https://www.dinsgr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 文雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合政策本部長 (氏名) 下田 守彦 TEL 078-857-6600
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	73,035	7.9	19,714	18.6	20,589	23.3	13,591	29.5
2023年3月期	67,658	4.1	16,623	29.5	16,702	25.5	10,494	18.3

（注）包括利益 2024年3月期 14,189百万円（29.8%） 2023年3月期 10,930百万円（20.1%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	136.44	—	16.4	12.2	27.0
2023年3月期	112.04	—	15.2	10.4	24.6

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 136百万円 2023年3月期 86百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	172,796	88,008	50.7	882.86
2023年3月期	163,615	78,969	48.0	785.71

（参考）自己資本 2024年3月期 87,557百万円 2023年3月期 78,487百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	21,674	△15,562	△7,643	52,124
2023年3月期	16,266	△12,296	△8,968	53,416

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00	3,396	30.3	4.7
2024年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00	4,165	30.8	5.0
2025年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00		30.4	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	38,000	7.0	9,800	3.7	9,800	△3.6	6,500	△0.9	65.54
通期	78,500	7.5	20,500	4.0	20,700	0.5	13,700	0.8	138.14

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 12「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	99,892,900株	2023年3月期	99,892,900株
2024年3月期	717,444株	2023年3月期	—株
2024年3月期	99,619,335株	2023年3月期	93,665,256株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	35,116	4.0	7,913	△17.4	11,678	△5.4	9,012	△0.9
2023年3月期	33,767	1.1	9,583	22.9	12,347	16.2	9,090	18.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	90.47	—
2023年3月期	97.06	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	136,989	64,046	46.8	645.79
2023年3月期	133,513	59,719	44.7	597.83

(参考) 自己資本 2024年3月期 64,046百万円 2023年3月期 59,719百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や雇用・所得環境の改善に加えて、活発な開発工事が下支えとなり、経済活動の正常化に向けた動きがより一層進んでおります。

このような状況のもと、インフラ開発案件に伴う廃棄物処理需要を獲得したこと、当社三木リサイクルセンターの焼却等熱処理施設である三木バイオマスファクトリーが2023年10月から本格稼働したこと、パートナー企業や自治体との廃プラスチック資源循環システムの構築に注力したことなどにより廃棄物の受入量が拡大しました。また、内製化によるコスト削減を進めた結果、売上・利益ともに過去最高の業績となりました。

M&Aにおいては、2024年1月5日に当社グループが進めている持続可能な成長に向けた最終処分場や焼却等熱処理施設などの設備計画を機動的に進めるためディーゼイン株式会社を連結子会社化、同年1月31日に自治体との取引拡大のため北口建設工業株式会社を持分法適用関連会社化しました。さらに同年3月1日にアイナックフットボールクラブ株式会社を連結子会社化し、地域の活性化及び女子スポーツの課題であるセカンドキャリアの支援への取り組みや女性活躍社会を推進し、社会的な役割を担うことで当社グループのブランド価値や認知度向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減額	増減率
売上高	67,658	73,035	5,377	7.9%
営業利益	16,623	19,714	3,090	18.6%
営業利益率	24.6%	27.0%	+2.4pt	—
経常利益	16,702	20,589	3,887	23.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,494	13,591	3,097	29.5%
EBITDA	22,250	26,265	4,015	18.0%
EBITDAマージン	32.9%	36.0%	+3.1pt	—

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費(営業外費用除く)+のれん償却額

2. EBITDAマージン=EBITDA/売上高

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(環境関連事業)

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減額	増減率
売上高	65,472	71,032	5,560	8.5%
セグメント利益	16,715	20,109	3,394	20.3%

「廃棄物処理・資源循環」において、廃棄物受入量は2,207千トン(前年同期比16.6%増)となりました。これは、関西・中部エリアを中心とするインフラ開発案件に伴う廃棄物処理需要を獲得したことなどによるものであります。

「土壌浄化」において、汚染土壌受入量は406千トン(前年同期比39.1%減)となりました。これは、大型案件の終了に加えて、最終処分場で受け入れる汚染土壌の受注単価を見直したことによるものであります。一方で、難処理土壌の獲得などにより売上高の確保に努めました。

「エネルギー創造」において、当社三木リサイクルセンターの三木バイオマスファクトリーの本格稼働により売電量が前年同期比で397.9%増加しました。

利益面においては、継続的な内製化によるコスト削減を進めたことにより、増益となりました。

(その他)

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減額	増減率
売上高	2,185	2,002	△182	△8.4%
セグメント利益 又は損失(△)	134	△238	△372	—

「アルミペレット」において、アルミペレットの販売量は下期から回復し、前年同期比で7.0%増加しましたが、アルミ市況が低水準で推移しているため、減収となりました。

「リサイクルプラスチックペレット」において、流通業界の需要の縮小などにより販売量は減少したものの、販売単価の上昇に努めたため、売上高は前年同期並みとなりました。

「スポーツ地域振興」においては、2024年3月からの計上となります。主な売上内訳は、スポンサー収入、グッズ販売・チケット販売、ファンクラブ会費となります。

利益面においては、アイナックフットボールクラブ株式会社に係るのれん償却額の計上に加えて、上記の要因で減収となったことにより、減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減額	増減率
資産	163,615	172,796	9,180	5.6%
負債	84,646	84,787	140	0.1%
純資産	78,969	88,008	9,039	11.4%
自己資本比率	48.0%	50.7%	+2.7pt	—

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は172,796百万円（前連結会計年度末比9,180百万円の増加）となりました。

流動資産は66,582百万円（前連結会計年度末比514百万円の増加）となりました。

固定資産は105,958百万円（前連結会計年度末比8,818百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産が4,751百万円、投資その他の資産が4,214百万円増加したことによります。有形固定資産の増加は主に、建物及び構築物が7,597百万円、機械装置及び運搬具が11,326百万円増加し、建設仮勘定が12,863百万円、最終処分場が1,832百万円減少したことによります。建物及び構築物、機械装置及び運搬具は主に、当社三木リサイクルセンターの三木バイオマスファクトリー、伊賀リサイクルセンターのメタン発酵施設の設置及び当社グループ本部のある商業施設の再開業に伴う増加であり、これに伴い建設仮勘定が減少しております。また、最終処分場は、資産除去債務の再見積りに伴う減少になります。

(負債の部)

当第連結会計年度末における負債は84,787百万円（前連結会計年度末比140百万円の増加）となりました。

流動負債は29,604百万円（前連結会計年度末比3,366百万円の増加）となりました。これは主に、未払法人税等が1,130百万円増加したことによります。

固定負債は55,183百万円（前連結会計年度末比3,225百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金1,465百万円減少したことによります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は88,008百万円（前連結会計年度末比9,039百万円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が10,163百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結会計年度	2024年3月期 連結会計年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,266	21,674	5,407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,296	△15,562	△3,265
フリー・キャッシュ・フロー	3,970	6,112	2,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,968	△7,643	1,325

(注) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて1,291百万円減少し、52,124百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは21,674百万円の収入（前連結会計年度は16,266百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額6,223百万円があったものの、税金等調整前当期純利益20,496百万円、減価償却費6,221百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは15,562百万円の支出（前連結会計年度は12,296百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出2,012百万円及び有形固定資産の取得による支出13,128百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは7,643百万円の支出（前連結会計年度は8,968百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入11,900百万円があったものの、長期借入金の返済による支出12,852百万円、社債の償還による支出1,140百万円、自己株式の取得による支出1,985百万円、配当金の支払額3,393百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、物価上昇、地政学リスク及び金融資本市場の変動等の影響により不透明な状況が続くものの、引き続き活発な開発需要や省力化・デジタル化の推進等に伴う設備投資の増加、雇用・所得環境の改善を背景とする個人消費の持ち直しなどにより、景気改善が進むと予想しています。

このような状況の中においても、当社グループは、経営ビジョン「事業の永続性を高め、環境創造企業として進化する」の実現に向けて、脱炭素社会や循環経済への転換に向けた世界的潮流の中、長期的視点を持って、ESG施策にこれまで以上に積極的に取り組むことが重要であると考えています。多様なパートナーと共創することで地域循環共生圏を構築するとともに、脱炭素化、DX推進などに資する投資を積極的に行い、社会に貢献する企業であり続けるために持続的成長を目指してまいります。

上記の状況を鑑み、現時点における翌連結会計年度（2025年3月期）の連結業績見通しとしては、売上高78,500百万円、営業利益20,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益13,700百万円、EBITDA（営業利益＋減価償却費（営業外費用除く）＋のれん償却額）27,100百万円を見込んでいます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは現在国内を中心に事業を展開しており、当面は日本基準を適用することとしております。IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮し適切に対応を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,410	49,022
受取手形	338	528
売掛金	9,750	10,373
有価証券	3,398	2,026
製品	234	56
仕掛品	25	129
原材料及び貯蔵品	273	300
その他	656	4,145
貸倒引当金	△19	△1
流動資産合計	66,068	66,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,457	50,392
減価償却累計額	△21,885	△23,223
建物及び構築物（純額）	19,571	27,169
機械装置及び運搬具	72,913	86,362
減価償却累計額	△60,795	△62,917
機械装置及び運搬具（純額）	12,118	23,444
最終処分場	28,492	27,772
減価償却累計額	△21,212	△22,326
最終処分場（純額）	7,279	5,446
土地	18,661	18,818
建設仮勘定	20,843	7,979
その他	4,462	5,035
減価償却累計額	△2,416	△2,622
その他（純額）	2,045	2,413
有形固定資産合計	80,519	85,271
無形固定資産		
のれん	812	680
その他	544	529
無形固定資産合計	1,357	1,209
投資その他の資産		
投資有価証券	3,446	7,216
繰延税金資産	1,177	1,414
その他	10,668	10,876
貸倒引当金	△29	△30
投資その他の資産合計	15,263	19,477
固定資産合計	97,139	105,958
繰延資産		
株式交付費	407	255
繰延資産合計	407	255
資産合計	163,615	172,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,143	3,347
1年内償還予定の社債	1,140	960
1年内返済予定の長期借入金	12,743	13,255
未払法人税等	3,010	4,141
賞与引当金	900	985
資産除去債務	48	48
その他	5,250	6,865
流動負債合計	26,237	29,604
固定負債		
社債	2,795	1,835
長期借入金	46,482	45,017
繰延税金負債	60	42
退職給付に係る負債	848	796
資産除去債務	7,585	6,881
その他	637	610
固定負債合計	58,408	55,183
負債合計	84,646	84,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	12,622	12,651
利益剰余金	59,287	69,451
自己株式	—	△1,678
株主資本合計	77,817	86,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	1,146
退職給付に係る調整累計額	27	79
その他の包括利益累計額合計	669	1,226
非支配株主持分	482	451
純資産合計	78,969	88,008
負債純資産合計	163,615	172,796

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	67,658	73,035
売上原価	38,688	41,260
売上総利益	28,969	31,775
販売費及び一般管理費	12,346	12,060
営業利益	16,623	19,714
営業外収益		
受取利息	46	115
受取配当金	90	91
持分法による投資利益	86	136
為替差益	135	762
受取賃貸料	82	98
物品売却収入	166	170
その他	190	139
営業外収益合計	798	1,514
営業外費用		
支払利息	310	264
株式交付費償却	53	152
物品売却費用	148	151
その他	205	71
営業外費用合計	719	639
経常利益	16,702	20,589
特別利益		
固定資産売却益	37	34
受取保険金	16	11
特別利益合計	54	46
特別損失		
固定資産売却損	4	76
固定資産除却損	23	47
減損損失	270	—
違約金損失	—	16
その他	0	—
特別損失合計	298	140
税金等調整前当期純利益	16,459	20,496
法人税、住民税及び事業税	6,065	7,370
法人税等調整額	△189	△506
法人税等合計	5,876	6,863
当期純利益	10,582	13,632
非支配株主に帰属する当期純利益	88	40
親会社株主に帰属する当期純利益	10,494	13,591

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	10,582	13,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	504
退職給付に係る調整額	92	51
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	347	556
包括利益	10,930	14,189
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,841	14,148
非支配株主に係る包括利益	88	40

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	558	7,321	51,540	—	59,420
当期変動額					
新株の発行	5,348	5,348			10,697
剰余金の配当			△2,747		△2,747
親会社株主に帰属する当期純利益			10,494		10,494
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△47			△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,348	5,300	7,746	—	18,396
当期末残高	5,907	12,622	59,287	—	77,817

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	387	△65	322	327	60,070
当期変動額					
新株の発行					10,697
剰余金の配当					△2,747
親会社株主に帰属する当期純利益					10,494
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△47
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	254	92	347	154	501
当期変動額合計	254	92	347	154	18,898
当期末残高	642	27	669	482	78,969

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,907	12,622	59,287	—	77,817
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△3,396		△3,396
親会社株主に帰属する当期純利益			13,591		13,591
自己株式の取得				△1,985	△1,985
自己株式の処分		△32		306	274
自己株式処分差損の振替		32	△32		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		28			28
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	28	10,163	△1,678	8,513
当期末残高	5,907	12,651	69,451	△1,678	86,331

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	642	27	669	482	78,969
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当					△3,396
親会社株主に帰属する当期純利益					13,591
自己株式の取得					△1,985
自己株式の処分					274
自己株式処分差損の振替					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					28
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	504	51	556	△31	525
当期変動額合計	504	51	556	△31	9,039
当期末残高	1,146	79	1,226	451	88,008

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,459	20,496
減価償却費	5,413	6,221
減損損失	270	—
株式報酬費用	—	44
のれん償却額	212	360
持分法による投資損益 (△は益)	△86	△136
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	△16
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	75	82
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△277	—
受取利息及び受取配当金	△136	△207
支払利息	310	264
受取保険金	△25	—
為替差損益 (△は益)	△66	△705
通貨スワップ評価損益 (△は益)	148	13
固定資産売却損益 (△は益)	△33	42
固定資産除却損	23	47
売上債権の増減額 (△は増加)	△679	△813
仕入債務の増減額 (△は減少)	△208	200
未払金の増減額 (△は減少)	△781	△343
その他	1,891	2,425
小計	22,469	27,999
利息及び配当金の受取額	157	158
利息の支払額	△304	△260
法人税等の支払額	△6,081	△6,223
保険金の受取額	25	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,266	21,674
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11	△2,012
投資有価証券の売却及び償還による収入	151	14
有形固定資産の取得による支出	△12,934	△13,128
有形固定資産の売却による収入	87	62
資産除去債務の履行による支出	△343	△52
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△144
持分法適用関連会社株式の取得による支出	△114	△388
担保に供している預金の増減額 (△は増加)	1,139	—
その他	△270	88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,296	△15,562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	11,900
長期借入金の返済による支出	△15,348	△12,852
社債の償還による支出	△1,255	△1,140
株式の発行による収入	10,239	—
自己株式の取得による支出	—	△1,985
配当金の支払額	△2,747	△3,393
その他	△357	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,968	△7,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	120	239
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,877	△1,291
現金及び現金同等物の期首残高	58,294	53,416
現金及び現金同等物の期末残高	53,416	52,124

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間及び当第4四半期連結会計期間において、当社グループの廃棄物最終処分場埋立終了後の維持管理費用に基づき計上している資産除去債務について、維持管理方法の見直し及び維持管理費用の新たな情報の入手に伴い、既設最終処分場について見積りの変更を行いました。

これらの見積りの変更による減少額は、それぞれ394百万円及び545百万円となり変更前の資産除去債務残高から減額しております。

なお、当該見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ226百万円増加しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に評価を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「環境関連事業」を報告セグメントとしております。

「環境関連事業」は、廃棄物の収集運搬、中間処理・再資源化及び最終処分に至るまでのワンストップサービスの提供や汚染土壌について調査から対策に至るトータルソリューションの提供のほか、自社所有林を核とした地域林業経営などの環境に係る幅広い事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	65,472	2,185	67,658	—	67,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	11	46	△46	—
計	65,507	2,196	67,704	△46	67,658
セグメント利益	16,715	134	16,849	△225	16,623
セグメント資産	110,885	1,235	112,120	51,495	163,615
その他の項目					
減価償却費	5,401	11	5,413	—	5,413
のれんの償却額	212	—	212	—	212
持分法適用会社への 投資額	619	—	619	—	619
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	15,133	39	15,172	438	15,610

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業であります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。

3. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△225百万円は、セグメント間の連結調整であります。

(2) セグメント資産の調整額51,495百万円は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金、有価証券）、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額438百万円は、主に本社関連設備であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 4
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	71,032	2,002	73,035	—	73,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	10	39	△39	—
計	71,062	2,012	73,075	△39	73,035
セグメント利益又は 損失 (△)	20,109	△238	19,871	△156	19,714
セグメント資産	121,365	1,306	122,672	50,123	172,796
その他の項目					
減価償却費	6,170	19	6,190	30	6,221
のれんの償却額	200	160	360	—	360
持分法適用会社への 投資額	824	—	824	—	824
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	11,777	59	11,837	2,474	14,311

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業及び2024年3月1日に連結子会社化したアイナックフットボールクラブ株式会社のスポーツ振興事業であります。
2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。
3. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△156百万円は、セグメント間の連結調整であります。
 - (2) セグメント資産の調整額50,123百万円は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金、有価証券）、投資有価証券、商業施設「ROKKO i PARK」及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額30百万円は、商業施設「ROKKO i PARK」に係る資産の減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,474百万円は、主に商業施設「ROKKO i PARK」関連設備であります。
4. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	785.71円	882.86円
1株当たり当期純利益	112.04円	136.44円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	10,494	13,591
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	10,494	13,591
普通株式の期中平均株式数 (株)	93,665,256	99,619,335

(重要な後発事象)

該当事項はありません。